

『おもちさんがね…』

とよた かずひこ/さく・え

どうしんしゃ
童心社 E1



おもちさんが ひばちで ぽかぽか。ふんわり もちもち いいおかお……と おもったら、ぷすっと おかおが きえちゃった。でも、しんぱい ごむよう！しょうゆのおふろに ぴょ～ん。パリッパリの のりをまいて いそべまきの できあがり！

『だるまさんが』



かがくい ひろし/さく ブロンズ新社 E1

あかくて まんまる、えんぎものの だるまさんが ゆらゆらゆれて、どてっ。あっ、ころんじやった。またまたゆれて、「だるまさんが……」さあ、つぎは いったい どうなっちゃうのかな？



『ムーミン谷の冬』

トーベ・ヤンソン/作・絵

やまむろ しずか やく こうだんしゃ
山室 静/訳 講談社 949



新年をすぎたころ、ひとり冬眠から 目ざめてしまった ムーミンとロール。はじめは 不安でいっぱいでしたが、初めて まっしろ ゆき せかい あしをふみ出します。きびしい冬の中、ムーミンとロールは たくさんの 出会いを通じて、冬の世界を 生きられたこと、春へ向かうことへの よろこびを 見つけていきます。

『季節のこよみ きょうはなにをして遊ぶ？』

ひらの えりこ ちょ かいせいしゃ
平野 恵理子/著 偕成社 386

あそ
ち



日本は、季節の変化の うつりかわりが美しく、季節ごとに見られる生き物も ちがってきます。そんなうつりかわりを 大切にしながら遊んでみると きっと、新しい発見がありますよ。いろいろな行事も 待っています。一年通して、日本のこよみを 楽しみましょう。



『こたつ』

あそ うともこ さく ふくいんかんしょてん
麻生 知子/作 福音館書店 E7



さむい おおみそかの いちにちは、あったかいこたつを かぞくでかこんで すごします。おせちづくりに、ねんがじょうのようい。としこしそばをたべて、じょやのかねが きこえたら あっというまに おしょうがつです。

「あけましておめでとう！」としがあけてもこたつのうちは いろいろなもので いっぱいです。

『いろいろ1ねん』

レオ・レオーニ/著 ちよ たにかわ しゅんたろう やく
谷川 俊太郎/訳

あすなろ書房 E1 E



ふたごのねずみ、ウィリーとウィニーは 1月1日に、木のウッディと であいました。ウッディは あうたびに 花をさかせたり、くだものを みのらせたり、いろんすすがたを みせてくれます。ふたごとウッディの、すてきな1ねんを のぞいてみましょう。

『たこ』

か こ さとし ふくいんかんしょてん
加古 里子/さく 福音館書店 759



みなさんは「たこ」で あそんだことがありますか？ そらへ とばしてあそぶ 昔からのおもちや「たこ」を、おうちにあるもので たのしく作ってみましょう。はがきにがようし、ぽりぶくろ。しくみがわかれば、どんなものでも たこにはやがわり！？

★たこを とばすときは、ひろくても あんぜんな ばしょで あそんでね★

『なんてだじゃれなお正月 1月のおはなし』

いしざき ひろし さく さわの あきふみ え こうだんしゃ
石崎 洋司/作 澤野 秋文/絵 講談社 913



お正月ぎらいの さくらのもとへ、とつぜんあらわれた ふしぎな男の子。「門松をかざるなら、二十九日はだめ。『九』の字は『苦』につながるから、えんぎが悪いんだよ。」あれ？なんか、これって だじゃれっぽくない？ 男の子は、お正月のまめちしきを つぎつぎと 話し始めます。